

福井県立若狭高等学校 国際探求科のみなさん

グローバル社会を生きるためのスキルと心構え
(2016. 11. 8)

国際人をめざす会

講師 河上芳明

(大阪電気通信大学 金融経済学部)

そもそも「グローバル」と「インターナショナル」 どう違う？

DOMESTIC→INTERNATIONAL→GLOBAL

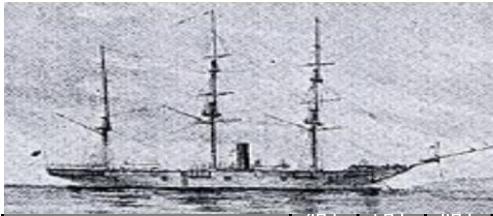


国境は見えない the globe



国境（縄張り）がある a world map

グローバル化って？



	2月末	5月末	8月末	11月末	2月末	5月末
ユニクロ事業合計	1,558	1,611	1,639	1,708	1,734	1,774
国内ユニクロ事業:	842	844	841	844	844	846
直営店	814	814	811	806	805	807
大型店	203	208	208	203	204	206
標準店	611	606	603	603	601	601
フランチャイズ店	28	30	30	38	39	39
海外ユニクロ事業:	716	767	798	864	890	928
中国	34			414	436	449
香港	2			25	25	25
台湾	5			58	59	63
韓国	13			163	163	171
シンガポール	22	23	23	23	24	24
マレーシア	24	24	25	31	33	34
タイ	21	23	23	29	30	32
フィリピン	22	23	23	27	27	30
インドネシア	6	7	8	9	9	9
オーストラリア	4	6	6	7	9	11
米国	39	40	42	48	44	44
英国	10	9	9	9	9	10
フランス	8	8	8	9	10	10
ロシア	5	7	8	9	9	11
ドイツ	1	1	1	2	2	3
ベルギー				1	1	2



日本	18,785	台湾	5,055	スウェーデン	185
アメリカ	8,366	タイ	9,252	デンマーク	186
メキシコ	1,874	フィリピン	1,740	アラブ首長国連邦	2
カナダ	504	マレーシア	2,001		
韓国	8,227	シンガポール	445		
中国	2,237	インドネシア	179		
		オーストラリア	637		
		ノルウェー	156	合計	59,831

例えば・自動車産業

トヨタという「日本の」会社
 は年1000万台の車を作っている
 そのうち日本国内で400万台、
 海外で600万台
 でも日本国内で売っているのは
200万台だけ
 だって日本の新車販売台数は全部で
500万台しかない

(トヨタの海外生産拠点は52箇所)



国民投票で英国のEU離
 脱が決まりました。お金や
 人や物が「国境」をまたい
 て行き来するようになるこ
 とを「グローバル化」と呼
 ぶとすれば、今回過半数の
 英国民は「反グローバル
 化」の選択をしたというこ
 とになり、米大統領選で
 ドナルド・トランプの「ア
 メリカ第一」というスロー
 ガンが予想外の支持を集め

ているのもこれと似た現象
 だといわれます。
 日本では「グローバル
 化」という言葉が「避けが
 たい流れにどう適応する
 か」という、少し「開国・
 明治維新・文明開化」的な
 文脈で使われることが多い
 ように思いますが、皆さん
 はどうお考えでしょうか？
 経済面から考えれば少し
 でも安いコストでいいモノ

を作ったたくさん売れば利
 益があるわけですから、
 作る場所も売る場所も「地
 元や近所」にせめて国内」で
 ある必要はありません。少
 しても条件のいいところを
 必死で探します。働いても
 らう人についても同じです。
 某大手自動車メーカーの
 ホームページによると同社
 の2015年の生産台数は
 約1千万台、うち国内生産

お金ば

お金は木(鬼)にならない...
 「お金は勝手に増えない」「お金は稼ぐもの」
 という感覚を、幼い頃から培うことが大切です。

幸 にならない (65)

大阪電気通信大学
 金融経済学部 資産運用学科
 河上 芳明 教授

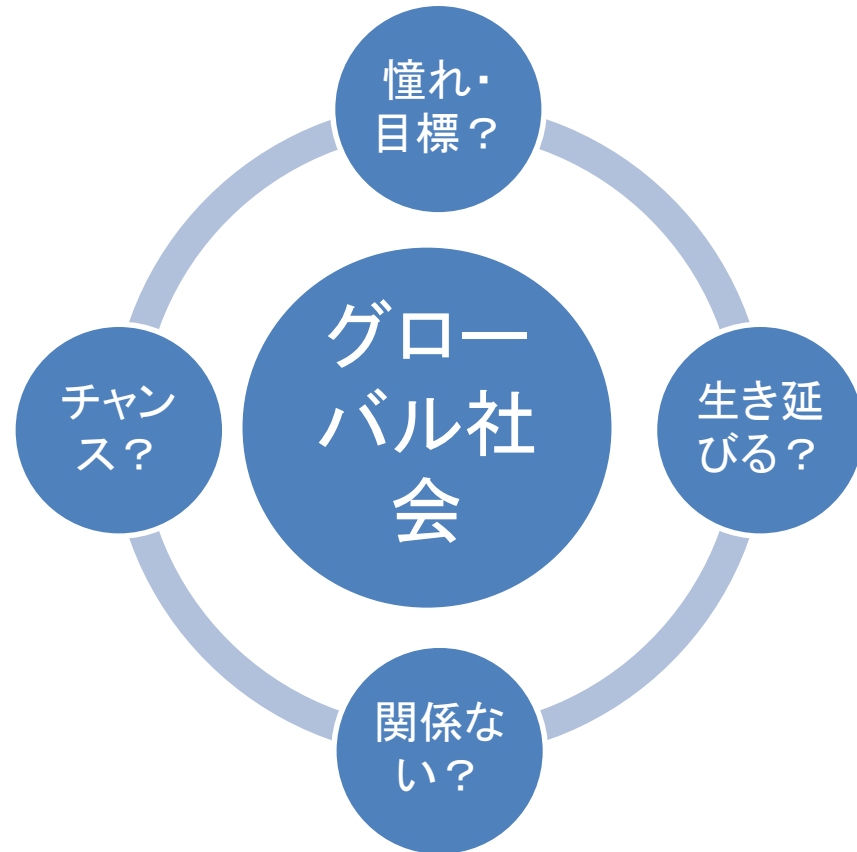
が約40%、世界中に52ある
 生産拠点での海外生産が60
 %となっています。そのう
 ち日本国内で登録されてい
 るのは2百万台少ししかあ
 りません。つまり海外で作
 って海外で売ると、日本
 で作って海外で売るとを合
 わせると生産台数の約80%
 を占めていることになりま
 す。私たちがスーパーでセ
 ネガル産の太刀魚やタイ産
 のエビを買っているのも似
 たようなもの。

でもこういう流れの行き
 つく先に何があるのか、み
 んなが漠然とした不安を抱
 えているのかもしれない。

君たちにとって「グローバル社会を生きる」って？

どう向き合うのか？

- 海外と自然に繋がってなんとなくかっこいい
- いろんなところでいろんな事ができそう
- 競争が激しくなりそう、サバイバル・ゲーム？
- 小浜で暮らしてる分には関係なさそう



いま「グローバルな」規模で起こってきたこと グローバリズムのいろいろな側面

経済・金融

- お金の動きが時空を超える
- 経済・市場がシンクロする (例)「リーマンショック」
- 格差の深刻化

政治

- 東西冷戦の終結、ソ連の崩壊
- 中国の近代化「改革・開放」
- 米国の弱体化
- 内戦による難民発生

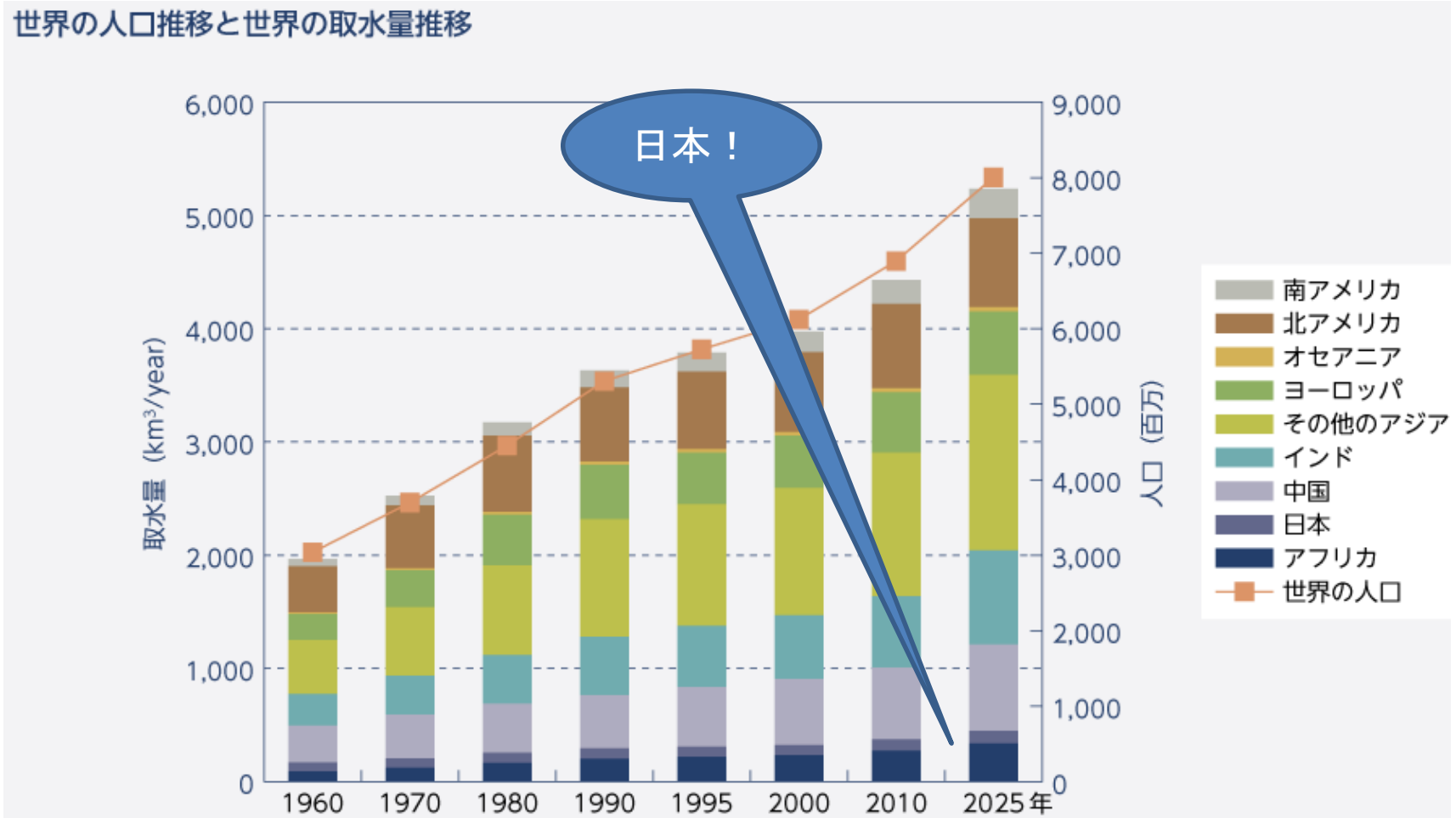
産業

- あちこちの「未開の畑」をどんどん耕して収穫
- 移動、情報伝達手段の激変
- 国境を越えた競争、協働

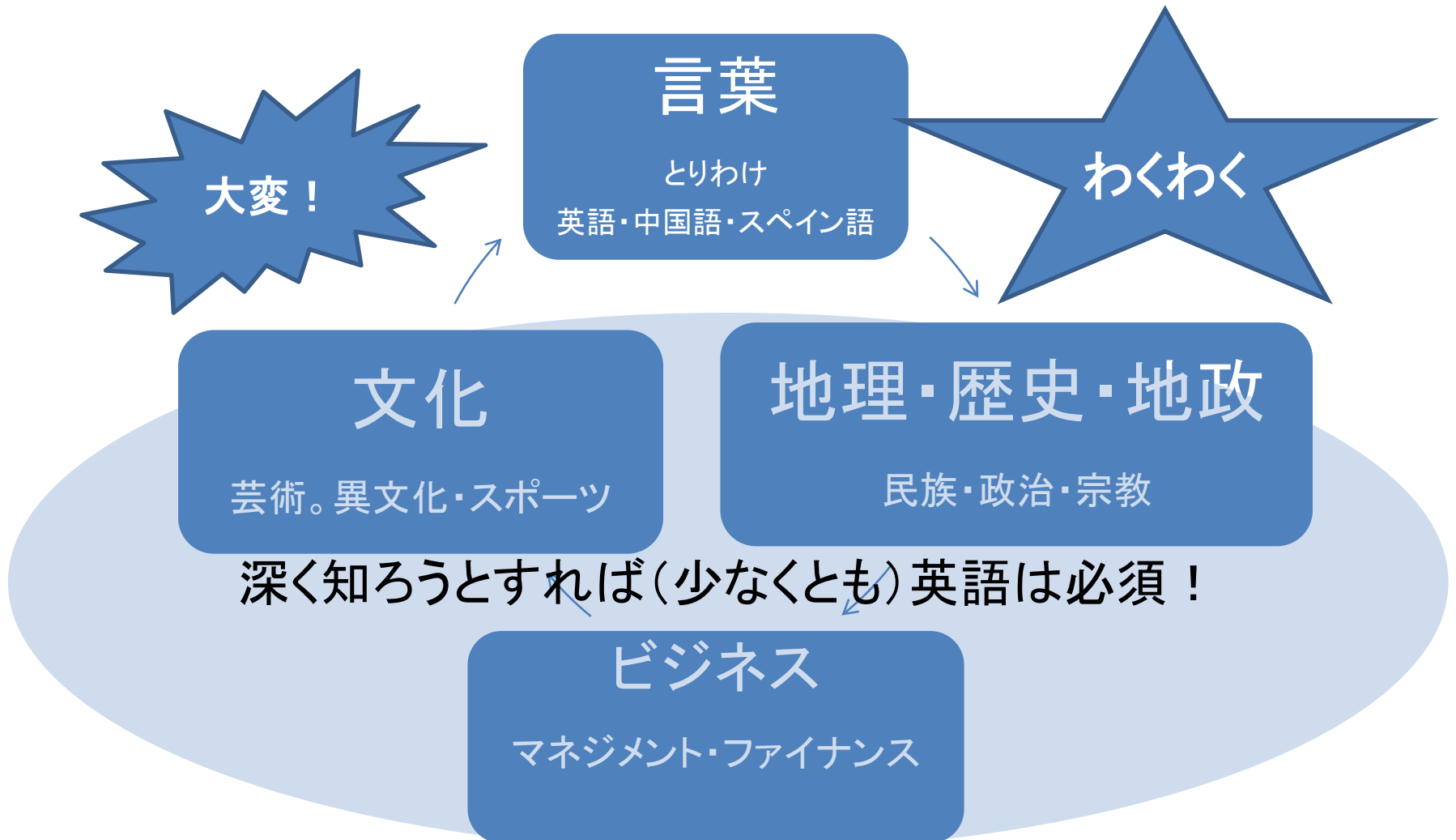
positive

negative

参考：世界の人口・地域の勢い・資源



これから考え・学んでいくこと



“The Economist” July 30th 2016

Contents



On the cover
What Japan's economic experiment can teach the rest of the world: leader, page 7. Abenomics may have failed to live up to the hype but it has not failed. And the hype was necessary to its success, page 54

The Economist online

Daily analysis and opinion to supplement the print edition, plus audio and video, and a daily chart.
Economist.com

E-mail: newsletters and mobile edition
Economist.com/email

Print edition: available online by 7pm London time each Thursday
Economist.com/print

Audio edition: available online to download each Friday
Economist.com/audioedition

The Economist

Volume 420 Number 9000

Published since September 1843 to take part in "a severe contest between intelligence, which presses forward, and ignorance, which presses backward, as a wormy, blind greyace obstructing our progress."

Editorial offices in London and also: Atlanta, Beijing, Berlin, Brussels, Cairo, Chicago, Lima, Mexico City, Moscow, Mumbai, Nairobi, New Delhi, New York, Paris, San Francisco, Sao Paulo, Seoul, Shanghai, Singapore, Tokyo, Washington DC

5 The world this week

Leaders

- 7 **Abenomics**
Overhyped, underappreciated
- 8 **Globalisation and politics**
The new political divide
- 9 **Russian dirty tricks**
Doping and hacking
- 9 **The parable of Yahoo**
From dotcom hero to zero
- 10 **Air pollution**
Cleaning up the data

Letters

- 12 **On Republicans**,
Pokémon, blood-testing,
Brazil, John Cleese,
Italian banks

Briefing

- 16 **Globalisation and politics**
Drawbridges up

Asia

- 19 **THAAD and South Korea**
Of missiles and melons
- 20 **Politics in Indonesia**
Look who's back
- 20 **Murder in Japan**
Massacre in a safe country
- 21 **Terror in Afghanistan**
Unwelcome guests
- 21 **Young aborigines**
Australia's Abu Ghraib
- 22 **Politics in Taiwan**
A series of unfortunate events

China

- 23 **Flood control**
A giant dam's drawbacks
- 24 **Jiang Zemin**
The cult of a former president
- 24 **Online media**
No reporting without permission

United States

- 25 **The Democratic convention**
Bridging the torrent
- 26 **On the trail**
Philly special
- 27 **Putin, Trump and the DNC**
Signal and noise
- 27 **The PCA championship**
Who'll win?
- 28 **Southern living**
From crop to pop
- 28 **Political parties**
Defining realignment
- 30 **Lexington**
Able Kaine



Terrorism in Europe Signs of change in the political reaction to terror in France. page 38. In the face of a rash of attacks, Germans are staying remarkably calm. page 39

The Americas

- 31 **Rio de Janeiro**
Not yet a medal contender
- 33 **Bello**
Cash in bin liners, please

Middle East and Africa

- 34 **Zimbabwe's president**
Comrade Bob besieged
- 35 **Local elections in South Africa**
Young rivals

Nigeria's struggling states

- Running out of road
- 36 **The Arab League**
A new low
- 36 **The Saudi bombardment of Yemen**
Worse than the Russians
- 37 **Water in the West Bank**
Not yet a drop to drink



The new political divide Farwell left v right. The new political contest is open v closed: leader, page 8. A closer look at the new divide in rich countries, pages 16-18. The anger and fickleness of American voters are forcing change. But in which direction? Page 28. Britain is unusually open to trade but also unusually bad at mitigating its impact. page 42

Europe

- 38 **France's response to terrorism**
Loss of faith
- 39 **How Germans handle terror**
Pure reason
- 39 **NATO and Trump**
Defend me maybe
- 40 **Catholic youth in Poland**
Cross purposes
- 41 **Charlemagne**
Advice for May and Merkel



Rio and the Olympics The Olympic city has been in decline since the 1960s. The games will not change that, page 31. A sobering history of how the Olympic games evolved. page 64

英語についての雑談(1)

「英語ができる人」のイメージ

- 教科としての英語
- 仕事の道具
- 自分をenhanceする手段

「語学」・・・
ちょっと違うなあ

皆さんのこれからの取り組み

- 今できること・やるべきこと
- 大学に入ってやりたい事
- 社会人になってやりたい事

雑談(2) (恥ずかしながら)私自身の道のり

普通の人生

- 中高までの英語(教科としてはできた)→大学(ブランク)→社会人(不要)

突然の海外

- 聞けないからしゃべれない、電話も取れない→5年間何とか頑張った

日本に帰って

- 意外と仕事で使うことが増えた(外部とのコミュニケーション)

もう一家海外

- 現地化が進んだ海外店現場で管理職

外資に転職

- 会議・電話・メール・時にケンカ！ 普通に英語で仕事をする環境

グローバル社会に打って出る？

- 今日は、ごくごく狭い範囲で、世の中で起こっている～起ころうとしている変化についてお話しました
- 皆さんがこれから自分で様々読んだり体験したり、探求 exploration に乗り出すきっかけになってくれればと思います
- 「グローバル社会」というのは、これからみんなが「迎える」ものでも自分が「入っていく」ものでもない、否応なくもうここにあるものです
- ぜひそういう視点でいろいろな情報を自分に取り込み、消化してもらいたい。そのための道具として「英語」はとても役に立ちます

どんな進路をとるにせよ、これからの数年間を大切に

おまけ

こんなことも「探求」してみてください

- 人工知能、ディープ・ラーニング
- シェアリング・エコノミー
- 自動運転
- フィンテック
- グローバリズムと格差
- アメリカの今回の大統領選挙の意味